

対象クラス	2年生活文化科 3年ビジネス管理・ビジネス情報科	単位数	2
使用教科書	光村出版 美術 1		
使用副教材	なし		

「美術 I」はこんな科目です。

美術は、中学校の学習で身に付けたことを、さらに細かく表現し、創作力や表現力、鑑賞力を伸ばします。

科目の到達目標（目標とする検定等）

- 1 美術を愛し、美術文化に対する興味・関心を高めます。
- 2 自己のイメージを表現するための技能を身に付け、それを活かして創造的に表現する力を養います。
- 3 多様な美術に対する理解が深まり、創造的に鑑賞することができるようにします。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
美術への関心・意欲・態度	・美術を愛好し、美術文化を尊重するとともに、個性を生かして意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わっている。	・学習活動への参加の状況 (制作への取組の姿や態度、授業中の発言、制作の準備)
発想や構想の能力	・感性をはたらかせて美術のよさや美しさを感じ取り、創造的に表現を工夫している。	・制作のはじめや途中のスケッチや試作品など
創造的な技能	・創造的な美術表現をするために、必要な技術を身に付けている。	・学習ノートの学習計画(課題や見直し)や学習記録(自己評価、相互評価など)
鑑賞の能力	・美術を幅広く理解し、その美しさを深く味わっている。	・制作した作品 ・鑑賞の学習のレポート

学習計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのか）

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期	○オリエンテーション ○生き生きと描く (絵画) ○自画像 (絵画) 【前期期末考査】	・教科書や図録、生徒作品を鑑賞する。 ・植物や動物、昆虫など身近なものを素材に生き生きと表現する。 ・多様な自画像の作品を鑑賞し、主題や表現の効果を感じ取る。 ・表現形式や技法の効果を活かし、主題に合った表現を構想する。	・学習の目標をもたせ、学習意欲を引き出す。 ・筆、パス、水彩絵の具など描画材の特質を活かして描く。 ・自分の主題に合った彩色や筆遣い、描画材を選択し、効果的に表現をする。 ・自分や仲間の表現の違いやよさを味わう。
後期	○日本の美術 (鑑賞) ○デザイン ○素材と発見と立体表現 (彫刻)	・日本の作家について調べる。 ・作品の紹介、作家の紹介の工夫を工夫する。 ・日常のデザイン再発見(鑑賞) ・環境ポスター(鑑賞) ・写真を使ったポスター(鑑賞) ・楽しさを描く(鑑賞) ・新しい材料の活用による造形表現の作品を鑑賞し、造形意識を拡大する。 ・風、光、動といったテーマをもち、自己の感情や造形の工夫を大切にしたいアイデアスケッチを行い、構想を練る。	・調べた作家や作品について紹介し、日本美術のよさを味わう。 ・身近にあるデザインや映像メディア表現に触れ、その効果や可能性について理解する。また、テーマに合った伝えたい内容を決め、効果的な表現の構想を練る。 ・デザインや映像メディアの可能性や必要性、社会に果たす役割等について視覚伝達の機能を活かして表現する。 ・写真・ビデオ等による表現の特性や機能を考え、自分の表現意図に応じて効果的な表現の構想を練る。 ・素材や材料、用具の特性を活かした表現方法を工夫して表現する。 ・テーマや表現の工夫などを交流し、表現のよさや美しさを鑑賞する。